

Business News 08

電気化学工業、樹脂製造プラントを新設

電気化学工業は、自動車内装用に使われるスチレン系共重合樹脂「デンカ IP[®]」の製造プラントをシンガポールに新設すると発表しました。投資額はおよそ30億円で、2012年4月稼働を予定しています。

現在は千葉工場で年16,000トンを生産していますが、中国などの新興市場で自動車市場が成長し需要増が見込まれるため、生産能力の拡充を行います。シンガポール工場では年2万トンの生産を計画しています。

Business News 09

161億ドルR&D支援、知識・技術立国を目指す

リー・シェンロン(Lee Hsien Loong)首相が座長を務める「研究イノベーション事業評議会(RIEC)」は、今後5年間で約1兆143億ドル(161億SGD)を研究開発(R&D)に充てると発表しま

した。2006—2010年のR&D拠出額約8536億ドル(135億5,000万SGD)より20%増額し、世界No.1の知識・技術立国を推進していきます。

リー首相は、長期的な目標として、世界トップのR&Dそしてイノベーション創出拠点づくりを掲げており、高付加価値の雇用と繁栄を生み出すにはR&Dの推進は不可欠としています。会見では、「R&Dと技術力は産業の競争力を高め、新たな成長分野を創出し、経済を変えていく。知的資本は次の経済発展の段階で重要」と強調しています。

予算のうち約630億ドル(10億SGD)は国家研究開発財団(NRF)のプロジェクトにあてられます。NRFは持続可能な都市開発、効率的な輸送システムなどの分野の研究に注目しており、中でもクリーンエネルギー分野に力を入れています。20年以内に導入可能なソリューションを開発し、二酸化炭素排出量の削減やエネルギー効率のアップに加え、代替エネルギーの種類を増やしていくことを目標としています。

バイオ医療、エレクトロニクス、情報通信といった分野のほか、投資分野を特定しない「ホワイト・スペース」を設け、今後成長が見込まれる新分野の投資も視野にいられています。予算額の大半は、シンガポールの技術力を高め、経済や社会に貢献できるかを基準に選ばれたプロジェクトに拠出されます。RIECは官民の研究機関との連携を強化し、実用化できる商品の開発を推進していきます。

Singapore Snapshot

シンガポール航空、羽田—シンガポール就航



シンガポール航空は、11月1日より羽田—シンガポール線を就航します。現在の1日2便の成田線に加え、羽田線でも1日2便のサービスを提供します。羽田空港は国内線への乗継が便利なほか、東京都心へのアクセスも良いことから、ビジネスマンや観光客の利用が増えると期待されています。

<http://www.singaporeair.co.jp/haneda/>

* 記事中の通貨換算レートは、1シンガポールドル(SGD)=63日本円(2010年10月2日現在)、1米ドル(USD)=84日本円(2010年9月29日現在)、1ユーロ=114日本円(2010年10月2日現在)で算出しています。

Singapore Investment News October–December 2010

発行：シンガポール経済開発庁 (EDB)

▼本レターに関するお問合せは、以下にお願いいたします。
シンガポール共和国大使館参事官(産業)事務所
Tel. 03 (3501) 6041
<http://www.singaporeedb.jp>
E-mail edb-japan@edb.gov.sg

【シンガポール経済開発庁 (EDB) とは】

経済開発庁 (Economic Development Board : EDB) は1961年に設立された貿易産業省傘下の政府機関で、シンガポールの産業育成、投資誘致を担っています。「外資系企業誘致のワンストップセンター」として、海外20カ所に事務所を持ち、外国企業に投資先としてのシンガポールの情報を提供するだけでなく、世界の経済、技術、市場動向を把握することで、シンガポールで競争力を持ちえる産業や分野を育成するための経済戦略を立案しています。日本には、東京、大阪に事務所を構え、日本企業のシンガポール投資をサポートしています。

このニュースレターは、シンガポールの今がわかるビジネス・投資情報をご案内していきます。